

取組点検指標を用いた取組確認結果（尾張地域）

1 背景

- ・水循環再生地域行動計画に定めた取組を着実に推進するため、各地域協議会に設置した行動計画フォローアップチームが中心となり、行動計画の進捗状況を点検・把握するために「取組点検指標」を平成20年度に取りまとめ、昨年度時点修正を行いました。
- ・「取組点検指標」は「地域共通の取組」（下水道整備や雨水貯留・浸透施設の設置補助などの地域で広く実施されている基盤的な取組）と「流域別の取組」（地域住民による水源地と上下流交流、湿地の保全など地域に根ざした取組）が設定されています。
- ・「地域共通の取組」は水循環の4つの機能である「きれいな水」、「豊かな水」、「多様な生態系」、「ふれあう水辺」の項目で、「流域別の取組」は水循環再生に向けた取組テーマである「森づくり」、「郷づくり」、「まちづくり」、「川、里海づくり」の項目で設定されており、平成21年度から実績値（前年度分）の集計を行っています。

2 平成23年度取組実績

- ・尾張地域水循環再生地域協議会構成員54団体が実施した72の取組（地域共通の取組20 流域別の取組52）について実績を把握しました。（取組結果は別表参照）
- ・地域共通の取組について、「きれいな水」の代表的な取り組みである、生活排水処理施設の整備（下水道整備、合併処理浄化槽の設置）が進んだことにより、汚水処理人口普及率が平成22年度よりも上昇しました。また、下水道施設の高度処理の導入も着実に進んでいます。
- ・流域別の取組について、合流式下水道の改善や特定都市河川浸水被害対策法等に基づく取組等、ハード整備が着実に実施されています。また、クリーンアップ五条川や海のクリーン大作戦等の住民主体の清掃活動や、水源涵養林育成事業、なごや東山の森づくり等のイベントも継続的に実施されています。
- ・以上のことから、イベント等の参加数は増減があるものの、下水道整備等のハード整備は着実に実施されており、水循環に関する取組は着実に推進されています。

項目		取組数	代表的な取組
地域共通の取組	きれいな水	9	○生活排水処理施設の整備 下水道の整備 H21 72.3% → H23 74.3% 合併処理浄化槽の基数割合 H21 25.3% → H23 29.4% 汚水処理人口普及率 H21 84.5% → H23 86.3% 高度処理実施率 H21 15.5% → H23 19.2%
	豊かな水	4	
	多様な生態系	5	
	ふれあう水辺	2	
流域別の取組	日光川等流域	12	○川と海のクリーン大作戦 実施回数(回) H21年 9回 H22年 4回 H23年 4回 実施箇所数 H21年 17箇所 H22年 10箇所 H23年 13箇所 のべ参加人数 H21年 4,396人 H22年 1,434人 H23年 3,800人
	木曽川・庄内川等流域	28	
	天白川・山崎川等流域	9	
	伊勢湾沿岸域(知多半島)	3	

尾張地域 地域共通の取組点検指標及び取組実績

めざす姿	指標とする取組 取組内容	指標とする項目			指標とする項目を 報告する機関	指標の説明	
		平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度実績			
きれいな水	下水道の整備 ・生活環境の改善、公共用水域の水質保全のため下水道整備及び適正な維持管理を推進する。	下水道普及率(%) 72.3%	下水道普及率(%) 73.5%	下水道普及率(%) 74.3%	県下水道課	下水道普及率=下水道処理人口/行政人口×100	
	農業・漁業集落排水施設の整備 ・農村生活環境の改善並びに公共用水域等の水質保全のため、農業集落排水施設の整備及び適正な維持管理を推進する。	農業集落排水処理人口普及率(%) 1.2%	農業集落排水処理人口普及率(%) 1.2%	農業集落排水処理人口普及率(%) 1.12%	県農地整備課 水産課	農業集落排水処理人口普及率=農業集落排水処理人口/行政人口×100	
	合併処理浄化槽の設置 ・既設の単独処理浄化槽について、地域の実情に応じ、合併処理浄化槽への転換の促進を図る。	合併処理浄化槽処理人口普及率(%) 10.8%	合併処理浄化槽処理人口普及率(%) 10.8%	合併処理浄化槽処理人口普及率(%) 10.8%	県水地盤環境課	・合併処理浄化槽処理人口普及率=合併処理浄化槽設置済人口/行政人口×100 ・合併処理浄化槽の基數割合=合併処理浄化槽の基數割合/全浄化槽基數×100	
		合併処理浄化槽の基數割合(%) 25.3%	合併処理浄化槽の基數割合(%) 27.9%	合併処理浄化槽の基數割合(%) 29.4%			
	コミュニティプラントの整備 ・生活環境の改善、公共用水域の水質保全のためコミュニティプラントの整備及び適正な維持管理を推進する。	コミュニティプラント処理人口普及率(%) 0.2%	コミュニティプラント処理人口普及率(%) 0.16%	コミュニティプラント処理人口普及率(%) 0.15%	資源循環推進課	コミュニティプラント処理人口普及率=コミュニティプラント処理人口/行政人口×100	
	汚水処理全体 ・下水道や農業集落排水処理施設等を整備するとともに、合併処理浄化槽の普及を図るなどにより生活排水対策を推進する。	汚水処理人口普及率(%) 84.5%	汚水処理人口普及率(%) 85.7%	汚水処理人口普及率(%) 86.3%	県下水道課	汚水処理人口普及率=汚水処理人口/行政人口×100	
	高度処理施設の導入 ・公共用水域の水質保全のため下水道施設の高度処理化を推進する。	高度処理人口普及率(%) 15.5%	高度処理人口普及率(%) 18.5%	高度処理人口普及率(%) 19.2%	県下水道課	高度処理実施率=高度処理人口/行政人口×100	
	河川等公共用水域水質監視 ・公共用水域の水質常時監視を実施する。	河川(BOD)の環境基準達成率(%) 93.3%	河川(BOD)の環境基準達成率(%) 93.3%	河川(BOD)の環境基準達成率(%) 93.0%	県水地盤環境課	・河川BOD(尾張地域のみの)環境基準達成率 ・海域COD(伊勢湾(狭義のみ)の)環境基準達成率	
		海域(COD)の環境基準達成率(%) 50%	海域(COD)の環境基準達成率(%) 25%	海域(COD)の環境基準達成率(%) 50.0%			
	水生生物調査 ・水生生物を指標とした水質調査の実施と調査への支援。	実施箇所数 31箇所 のべ参加人数(人) 1,416人	実施箇所数 14箇所 のべ参加人数(人) 747人	実施箇所数 20箇所 のべ参加人数(人) 821人	県水地盤環境課	水生生物調査の実施箇所数、のべ参加人数	
	河川・海岸の清掃 ・河川・海岸の清掃を行う。	実施回数(回) 1,125回 実施箇所数 127箇所 のべ参加人数(人) 54,087人	実施回数(回) 1,038回 実施箇所数 112箇所 のべ参加人数(人) 34,710人	実施回数(回) 634回 実施箇所数 120箇所 のべ参加人数(人) 32,547人	各構成員	構成員が主催する河川又は海岸の清掃活動の実施回数、実施箇所数、のべ参加人数	
	豊かな水	森林の整備 ・水源かん養機能などの多面的機能を高度に発揮する森林の整備・保全等を推進する。	間伐面積(ha) 40.38ha	間伐面積(ha) 40.40ha	間伐面積(ha) 64.84ha	県森林保全課	間伐を実施した面積
		雨水貯留・浸透施設の設置(浄化槽の転用を含む) ・かん養機能向上のための雨水貯留浸透施設の設置を推進する。	雨水貯留施設の設置数 31箇所 雨水貯留浸透施設設置補助件数 354件	雨水貯留施設の設置数 168箇所 雨水貯留浸透施設設置補助件数 263件	雨水貯留施設の設置数 328箇所 雨水貯留浸透施設設置補助件数 548件	各構成員	・構成員が施工した公共施設等における雨水貯留施設の設置数 ・地域住民が行う雨水貯留浸透施設(浄化槽転用貯留槽、雨水貯留浸透施設、雨水浸透ます、雨水浸透管・側溝、透水性舗装など)の設置に補助した件数
		透水性舗装の推進 ・歩道等における透水性舗装を推進する。	整備面積(m ²) 56,500m ²	整備面積(m ²) 74,955m ²	整備面積(m ²) 61,275m ²	各構成員	構成員が施工した透水性舗装の面積
		ため池の保全 ・多面的機能を持つため池の保全を推進する。	整備箇所数 9箇所	整備箇所数 8箇所	整備箇所数 7箇所	各構成員	構成員が整備したため池の箇所数
多自然川づくり ・河川全体の営みを視野に入れ地域の歴史文化との調和に配慮し、河川が本来有している生物の生息・生育・繁殖環境及び多様な河川景観を保全・創出する。		整備延長(km) 105km	整備延長(km) 108km	整備延長(km) 109km	県河川課	県内全域での実績	
多様な生態系	ため池の保全(再掲) ・多面的機能を持つため池の保全を推進する。	整備箇所数 「豊かな水」を参照	整備箇所数 「豊かな水」を参照	整備箇所数 「豊かな水」を参照	-	-	
	ビオトープ整備 ・ビオトープの整備を推進する。	整備箇所数 5箇所	整備箇所数 4箇所	整備箇所数 3箇所	各構成員	構成員が整備したビオトープの箇所数	
	水生生物調査(再掲) ・水生生物を指標とした水質調査の実施と調査への支援。	実施箇所数 「きれいな水」を参照 のべ参加人数(人) 「きれいな水」を参照	実施箇所数 「きれいな水」を参照 のべ参加人数(人) 「きれいな水」を参照	実施箇所数 「きれいな水」を参照 のべ参加人数(人) 「きれいな水」を参照	-	-	
	河川・海岸の清掃(再掲) ・河川・海岸の清掃を行う。	実施回数(回) 「きれいな水」を参照 実施箇所数 「きれいな水」を参照 のべ参加人数(人) 「きれいな水」を参照	実施回数(回) 「きれいな水」を参照 実施箇所数 「きれいな水」を参照 のべ参加人数(人) 「きれいな水」を参照	実施回数(回) 「きれいな水」を参照 実施箇所数 「きれいな水」を参照 のべ参加人数(人) 「きれいな水」を参照	-	-	
		「きれいな水」を参照 整備延長(km) 多様な生態系参照	「きれいな水」を参照 整備延長(km) 多様な生態系参照	「きれいな水」を参照 整備延長(km) 多様な生態系参照	-	-	
		実施回数(回) 「きれいな水」を参照 実施箇所数 「きれいな水」を参照 のべ参加人数(人) 「きれいな水」を参照	実施回数(回) 「きれいな水」を参照 実施箇所数 「きれいな水」を参照 のべ参加人数(人) 「きれいな水」を参照	実施回数(回) 「きれいな水」を参照 実施箇所数 「きれいな水」を参照 のべ参加人数(人) 「きれいな水」を参照	-	-	
		「きれいな水」を参照 整備延長(km) 多様な生態系参照	「きれいな水」を参照 整備延長(km) 多様な生態系参照	「きれいな水」を参照 整備延長(km) 多様な生態系参照	-	-	
ふれあう水辺	多自然川づくり(再掲) ・河川全体の営みを視野に入れ地域の歴史文化との調和に配慮し、河川が本来有している生物の生息・生育・繁殖環境及び多様な河川景観を保全・創出する。	整備延長(km) 多様な生態系参照	整備延長(km) 多様な生態系参照	整備延長(km) 多様な生態系参照	-	-	
	実施回数(回) 「きれいな水」を参照 実施箇所数 「きれいな水」を参照 のべ参加人数(人) 「きれいな水」を参照	実施回数(回) 「きれいな水」を参照 実施箇所数 「きれいな水」を参照 のべ参加人数(人) 「きれいな水」を参照	実施回数(回) 「きれいな水」を参照 実施箇所数 「きれいな水」を参照 のべ参加人数(人) 「きれいな水」を参照	-	-		

尾張地域 流域別の取組点検指標及び取組実績

流域名	テーマ区分	指標とする取組		指標とする項目		
		取組内容	実施機関名(構成員名)	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度実績
<p>日光川等流域</p> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○全般に単調な護岸であることから、自然に配慮した多自然川づくりが必要である。 ○農地の保全と市街地における雨水浸透施設など地下水かん養の充実が必要である。 ○河口域の大規模なヨシ原は生物の生育・生息環境を形作っていることから、これらの保全が必要である。 <p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ☆田園や街など、周辺環境と調和した水辺景 ○自然や親水性に配慮した川や水路の整備と清掃など水辺環境の改善による、人に親しみ易い水辺や景観を維持 ○下流域に群生しているヨシ原など、この流域に貴重な水辺の自然の保全 	森づくり	—	—	—	—	
	郷づくり	—	—	—	—	
	まちづくり	合流式下水道の改善	名古屋市、一宮市、津島市	吐き口対策スクリーン設置5箇所 一宮市 雨水貯留施設設置(平成25年度完了) 津島市	平成22年度は実績なし(名古屋市) 平成22年度は実績なし(一宮市) 雨水貯留施設設置(平成24年度完了)(津島市)	平成23年度は実績なし(名古屋市) 平成23年度は実績なし(一宮市) 雨水貯留施設設置(平成25年度完了)(津島市)
		浄化槽の適正な維持管理	あま市	—	—	—
		合併処理浄化槽設置整備事業	蟹江町	—	—	—
				申込件数	申込件数	申込件数
				対象地域53件 特例地21件	対象地域53件 特例地21件	対象地域58件 特例地16件
		なごや西の森づくり	名古屋市	市民の参加者数 1,300人 植え込木数 3,710本	市民の参加者数 2,450人 植え込木数 11,400本	市民の参加者数 1,600人 植え込木数 3,200本
		水質環境目標値市民モニタリング	名古屋市	モニター登録人数 186人	モニター登録人数 182人	モニター登録人数 145人
	川・里海づくり	水辺スポットの整備	蟹江町	親水施設面積(ha) 1ha 整備箇所数 1箇所	親水施設面積(ha) 1ha 整備箇所数 1箇所	親水施設面積(ha) 1ha 整備箇所数 1箇所
		三宅川の清掃活動	稲沢市	実施回数(回) 1回 実施箇所数 1箇所 のべ参加人数(人) 156人	実施回数(回) 1回 実施箇所数 1箇所 のべ参加人数(人) 148人	実施回数(回) 1回 実施箇所数 1箇所 のべ参加人数(人) 122人
		大江川・蟹江川の清掃活動	あま市	実施回数(回) 1回 実施箇所数 1箇所 のべ参加人数(人) 525人	実施回数(回) 1回 実施箇所数 1箇所 のべ参加人数(人) 573人	実施回数(回) 1回 実施箇所数 1箇所 のべ参加人数(人) 600人
		蟹江川の清掃活動等	蟹江町	実施回数(回) 1回 実施箇所数 1箇所 のべ参加人数(人) 228人	実施回数(回) 2回 実施箇所数 2箇所 のべ参加人数(人) 321人	実施回数(回) 2回 実施箇所数 2箇所 のべ参加人数(人) 400人
		水生生物調査	流域市町、県水地盤環境課 (※報告機関:県水地盤環境課)	実施箇所数 3箇所 のべ参加人数(人) 218人	実施箇所数 4箇所 のべ参加人数(人) 208人	実施箇所数 2箇所 のべ参加人数(人) 141人
		水質環境目標値市民モニタリング(再掲)	名古屋市	モニター登録人数 (再掲のため省略)	モニター登録人数 (再掲のため省略)	モニター登録人数 (再掲のため省略)
	大江川クリーン作戦	一宮市	実施回数(回) 1回 実施箇所数 1箇所(2.0km) のべ参加人数(人) 約600人	実施回数(回) 1回 実施箇所数 1箇所(2.0km) のべ参加人数(人) 約900人	実施回数(回) 1回 実施箇所数 1箇所(2.0km) のべ参加人数(人) 約900人	

流域名	テーマ区分	指標とする取組		指標とする項目		
		取組内容	実施機関名(構成員名)	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度実績
				整備面積(ha)	整備面積(ha)	整備面積(ha)
木曾川・庄内川等流域 【課題】 ○矢田川上流では環境基準が達成されていないこと、庄内川下流では生物の生息環境や水に親しい観点からさらなる改善が望まれる。 ○庄内川は河群の植生など貴重な生物の生息・生育の場として重要であるため、護岸の整備などにより制約を受けた生息・生育環境の改善をはかる必要がある。 ○新川流域では非かんがい期に悪化する水質の改善と雨水などによる地下水かん養が必要である。 ○農業用排水路では可能な限りの動植物の生息・生育環境への配慮が求められる。 【目標】 ☆水が見えるまちづくり ○水質等の改善により魚が見られ人が親しめる身近な水辺の創造 ○都市域において生物が豊かな干潟やヨシ原などの保全	森づくり	水圏涵養林育成事業 ・植樹祭でヒノキの苗の植樹を行う。 流域連携 ・木曾三川流域の水環境を守るため、広く自治体と連携し、植樹や間伐などの保全活動を行う	愛知用水土地改良区	整備面積(ha)	整備面積(ha)	整備面積(ha)
				0.3ha	0.3ha	0.3ha
				参加人数(人)	参加人数(人)	参加人数(人)
			名古屋市	268人	164人	170人
	郷づくり	総合治水対策の推進 ・宅地化が進み、雨水不浸透面積が増大したことから、洪水対策と環境への負荷軽減を目的として、水田の埋立てを防止するための助成を行う。 自然生態園整備事業 ・都市化の進展とともに農地の転用が進み、身近な自然が次々と失われていく状況の中、市内で一番重要な自然の文化財である北島町津島神社の鎮守の森周辺を、自然を生かした「ビオトープ公園」として整備し、保全・活用する。 湿地・湿原の保全 ・除伐・下草刈りなど湿地・湿原の保全整備を行う。	扶桑町	助成件数	助成件数	助成件数
				13件	244件	244件
			岩倉市	来園者数(人)	来園者数(人)	来園者数(人)
				9,601人	10,044人	10,017人
			春日井市	実施回数(回)	実施回数(回)	実施回数(回)
				2回	2回	2回
	まちづくり	合流式下水道の改善 ・合流式下水道の改善のため、吐き口対策スクリーン、遮集管、雨水貯留施設等の設置を行う。	名古屋市、一宮市	名古屋市	名古屋市	名古屋市
				・きょう雑物除去装置28ヶ所(完了) ・ポンプ所スクリーンの目幅縮小3ヶ所(完了1、整備2) ・雨水貯留施設3ヶ所(完了1、整備2) ・簡易処理高度化施設2ヶ所(整備中)	・きょう雑物除去装置20ヶ所(完了) ・ポンプ所スクリーンの目幅縮小4ヶ所(完了1、整備3) ・雨水貯留施設2ヶ所(完了1、整備1) ・簡易処理高度化施設2ヶ所(整備中)	・きょう雑物除去装置19ヶ所(完了) ・ポンプ所スクリーンの目幅縮小4ヶ所(完了2、整備中2) ・雨水貯留施設1ヶ所(整備中) ・簡易処理高度化施設3ヶ所(完了1、整備中2)
			一宮市	一宮市	一宮市	一宮市
				-	-	-
		特定都市河川浸水被害対策法等に基づく取組 ・新川流域において、流域水害対策計画に基づき総合治水対策を推進。 ・河道改修や、流域対策として雨水貯留浸透施設の整備、ため池の保全等。	名古屋市、一宮市、春日井市、犬山市、江南市、小牧市、稲沢市、岩倉市、清須市、北名古屋市、あま市、豊山町、大口町、扶桑町、大治町、河川課	貯留施設: 10,990㎡ 透水性舗装: 65,757㎡ 浸透トレンチ: 1,600㎡ 浸透柵: 282個	貯留施設: 4,206㎡ 透水性舗装: 75,285㎡ 浸透トレンチ: 2,716㎡ 浸透柵: 350個	貯留施設: 4,251㎡ 透水性舗装: 70,742㎡ 浸透トレンチ: 2,263㎡ 浸透柵: 239個
	水質環境目標値市民モニタリング ・市内の河川、ため池において、透視度、水の色、水におい、ゴミ及び水量(河川のみ)について、市民モニターが年4回調査を実施。 ・調査結果を名古屋市に提出してもらい、それをとりまとめて、名古屋市が公表。	名古屋市	モニター登録人数	モニター登録人数	モニター登録人数	
			(再掲のため省略)	(再掲のため省略)	(再掲のため省略)	
	湧き水モニター ・水循環の一つの指標と考えられる湧き水の状況を、市民と協働で把握し、水循環に対する市民の関心を高め、行動へのきっかけとする。	名古屋市	モニター登録人数	モニター登録人数	モニター登録人数	
			40人	40人	44名	
	遊歩道・サイクリングロード整備事業 ・堤防及び高水敷等において、遊歩道・サイクリングロードを整備する。	一宮市、江南市	一宮市	一宮市	一宮市	
			親水施設面積1.45km 整備箇所数 2箇所	-	親水施設面積 3.69m 整備箇所数 1箇所	
		江南市	江南市	江南市	江南市	
			親水施設面積3.28ha 整備箇所数 1箇所	-	-	
	矢田川敷歩道整備事業 ・身近な水辺の親水性の向上づくりを図るため、矢田川河川敷の散策路整備を推進する。	尾張旭市	整備面積(ha)	整備面積(ha)	整備面積(ha)	
			0.0175ha	0.0092ha	0.203ha	
川・里海づくり	堀川の総合整備 ・「うるおいと活気の都市軸・堀川」を再びよみがえらせる」という目標を達成するため、堀川でマイタウン・マイリバー堀川整備事業を推進する。 ・また、健全な水環境系の構築が重要であることに鑑み、生物生息環境の確保と人と自然の豊かな触れ合い活動の場の確保を目的として、水質及び水量の改善を図る。	名古屋市	護岸整備延長(m)	護岸整備延長(m)	護岸整備延長(m)	
			7,905m	8,530m	8,730m	
	親水護岸の整備 ・地域の住民が水辺に近づいたり、子供達が水辺で遊んだり出来るようにするための親水性の護岸の設置を図る。 ・水辺の学校、総合学習の会場、水生生物調査の場としての整備。	庄内川河川事務所	整備箇所数	整備箇所数	整備箇所数	
			3箇所	-	-	

流域名	テーマ区分	指標とする取組		指標とする項目		
		取組内容	実施機関名(構成員名)	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度実績
木曾川・庄内川等流域	川・里海づくり	港湾環境整備事業(中川運河緑地)	名古屋港管理組合	緑地整備面積(ha)	緑地整備面積(ha)	緑地整備面積(ha)
		・市街地の貴重な水辺空間を活用して、人々が水辺に近づき、憩うことのできる空間として、港と都心を結ぶ快適な水辺環境軸を形成するため、中川運河において緑地を整備する。		約3.2ha (H21までの累積整備面積)	約3.2ha (H22までの累積整備面積)	約3.3ha (H23までの累積整備面積)
		高橋浄化施設の運転・管理	名古屋港管理組合	年間送水量(m)	年間送水量(m)	年間送水量(m)
		・中川口地区においては、市街地の貴重な水辺空間として、水際遊歩道等の緑地が整備されているが、その前面水域の環境向上を図り快適な水辺空間を創出するため、水質浄化施設を整備し、曝気を実施。		約140万m ³	約140万m ³	約140万m ³
		庄内川の清掃活動	矢田・庄内川をきれいにする会	実施回数(回)	実施回数(回)	実施回数(回)
		・河川の清掃を行う。		4回	2回	1回
				実施箇所数	4箇所	2箇所
			のべ参加人数(人)	約1,800人	10人	64人
		大山川クリーンアップ行事	大山川を愛する市民の会	実施回数(回)	実施回数(回)	実施回数(回)
		・河川の清掃を行う。		2,100人	2,016人	2,100人
				ごみの量(kg)	3,200kg	3,200kg
		五条川等の清掃活動	大山市	実施回数(回)	実施回数(回)	実施回数(回)
		・河川の清掃を行う。		2回	1回	1回
				実施箇所数	2箇所	3箇所
			のべ参加人数(人)	500人	500人	500人
		クリーンアップ五条川	岩倉市	実施回数(回)	実施回数(回)	実施回数(回)
・河川の清掃を行う。	1回	1回		1回		
	実施箇所数	1箇所		1箇所	1箇所	
	のべ参加人数(人)	700人	750人	750人		
新川等の清掃活動	清須市	実施回数(回)	実施回数(回)	実施回数(回)		
・河川の清掃を行う。		2回	2回	4回		
		実施箇所数	3箇所	3箇所	3箇所	
	のべ参加人数(人)	4,603人	6,694人	約6,000人		
川と海のクリーン大作戦	一宮市、春日井市、江南市、大山市、庄内川河川事務所 (報告機関:市町村)	実施回数(回)	実施回数(回)	実施回数(回)		
・住民と行政が一体となり清掃活動を実施する。 ・「ゴミを捨てない、捨てさせない」という意識の向上を図る。		9回	4回	4回		
		実施箇所数	17箇所	10箇所	13箇所	
	のべ参加人数(人)	4,396人	1,434人	3,800人		
藤前干潟クリーン大作戦	庄内川河川事務所	実施箇所数	実施箇所数	実施箇所数		
・庄内川下流から藤前干潟までの清掃を行う。		2箇所	2箇所	2箇所		
	のべ参加人数(人)	1,231人	1,731人	1,649人		
みなと川まちづくり 庄内川・新川クリーン大作戦	庄内川河川事務所	実施箇所数	実施箇所数	実施箇所数		
・庄内川・新川沿川(港区)の清掃活動を行う。		2箇所	2箇所	のべ2箇所 春:1箇所(2会場) 秋:1箇所(2会場)		
	のべ参加人数(人)	898人	216人	のべ1,423人 春:726人 秋:697人		
水生生物調査	流域市町、庄内川河川事務所、泉水地盤環境課 (※報告機関:泉水地盤環境課)	実施箇所数	実施箇所数	実施箇所数		
・水生生物を指標とした水質調査の実施と調査への支援。		26箇所	7箇所	15箇所		
	のべ参加人数(人)	1,097人	228人	439人		
モリコロの川(矢田川)を守るプロジェクト	瀬戸市	実施回数(回)	実施回数(回)	実施回数(回)		
・地元の河川である矢田川に目を向け、流域全体をネットワークで結び、情報、ノウハウを共有し、その知見等を流域全体の住民に広く広報し、まずは河川に対する関心を高めることが大切であると考え、プロジェクトを結成し、活動を開始。 ・河川堤防の清掃、草刈、堤防植林(緑の回廊)の維持管理、河川に生息する希少生物の保護、地域交流・親水行事・水環境に関するフォーラム等の実施。		-	-	-		

流域名	テーマ区分	指標とする取組		指標とする項目		
		取組内容	実施機関名(構成員名)	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度実績
				実施回数(回)	実施回数(回)	実施回数(回)
木曾川・庄内川等 流域	川・里海づくり	「合瀬川の清流を取りもどす会」の活動 ・魚が住みホタルが飛び豊かな自然を取り戻し、住民の健康で快適な生活ができる環境をつくることを目的として結成された「合瀬川の清流を取りもどす会」において、合瀬川流域の水質の保全と環境の美化に取り組む。 ・生物調査、採水調査、「水辺に親しむ活動」、「河川美化活動」を実施する。	小牧市、犬山市、北名古屋市、扶桑町、大口町 (※報告機関:小牧市)	実施回数(回) 生物調査…3回 水質調査…2回 水辺に親しむ活動…3回 河川美化活動…5回	実施回数(回) 生物調査…3回 水質調査…2回 水辺に親しむ活動…3回 河川美化活動…5回	実施回数(回) 生物調査:3回 水質調査:3回 水辺に親しむ活動:3回 河川美化活動:5回
		水環境目標値市民モニタリング(再掲) ・市内の河川、ため池において、透視度、水の色、水のおい、ゴミ及び水量(河川のみ)について、市民モニターが年4回調査を実施。 ・調査結果を名古屋市に提出してもらい、それをとりまとめて、名古屋市が公表。	名古屋市	モニター登録人数 (再掲のため省略)	モニター登録人数 (再掲のため省略)	モニター登録人数 (再掲のため省略)
		藤前干潟でのイベントの実施 ・広く市民に対して都市と自然との共生の象徴として藤前干潟の保全活用の意義及びその重要性を分かりやすくアピールすることを目的とし、藤前干潟周辺において普及啓発イベント(ワークショップ、観察会など)を実施。	名古屋市	参加者数(人) 延5,900人 (2日間 2会場)	参加者数(人) 延6,000人 (2日間 2会場)	参加者数(人) 延6,300人 (2日間 2会場)
		水源涵養林育成事業 ・植樹祭でヒノキの苗の植樹を行う。	愛知用水土地改良区	整備面積(ha) 0.3ha	整備面積(ha) 0.3ha	整備面積(ha) 0.3ha
		分取造林の整備 ・「森林を守ることで水を守る」ことを目的として、生活用水、工業用水及び農業用水の殆どを木曾川に依存している日進市の費用負担により、味噌川ダム左岸の国有林内で分取造林「平成日進の森林」の造林事業を実施。	日進市	育樹参加人数(人) 87人	育樹参加人数(人) 64人	育樹参加人数(人) 60人
		合流式下水道の改善 ・合流式下水道の改善のため、吐き口対策スクリーン、遮集管、雨水貯留施設等の設置を行う。	名古屋市	参加者数(人) 3,550人	参加者数(人) 2,900人	参加者数(人) 3,600人
天白川・山崎川等 流域	森づくり	なごや東山の森づくり ・「なごや東山の森づくり基本構想」に基づき、市民(なごや東山の森づくりの会)、企業、行政の協働で「なごや東山の森づくり」を推進する。 ・雑木林や湿地、竹林の手入れ、森の観察や調査、クラフトづくり等森での体験イベントを実施する。	名古屋市	モニター登録人数 (再掲のため省略)	モニター登録人数 (再掲のため省略)	モニター登録人数 (再掲のため省略)
		湧き水モニター ・水循環の一つの指標と考えられる湧き水の状況を、市民と協働で把握し、水循環に対する市民の関心を高め、行動へのきっかけとする。	名古屋市	モニター登録人数 (再掲のため省略)	モニター登録人数 (再掲のため省略)	モニター登録人数 (再掲のため省略)
		水生生物調査 ・水生生物を指標とした水質調査の実施と調査への支援。	流域市町、泉水地盤環境課 (※報告機関:泉水地盤環境課)	実施箇所数 2箇所 のべ参加人数(人) 101人	実施箇所数 3箇所 のべ参加人数(人) 311人	実施箇所数 3箇所 のべ参加人数(人) 241人
		水環境目標値市民モニタリング(再掲) ・市内の河川、ため池において、透視度、水の色、水のおい、ゴミ及び水量(河川のみ)について、市民モニターが年4回調査を実施。 ・調査結果を名古屋市に提出してもらい、それをとりまとめて、名古屋市が公表。	名古屋市	モニター登録人数 (再掲のため省略)	モニター登録人数 (再掲のため省略)	モニター登録人数 (再掲のため省略)
		【課題】 ○生態系を含めた周辺環境と調和した環境が求められている。	郷づくり	-	-	-
		【目標】 ☆都市を潤し自然と人を育む川 ☆周辺環境と調和した、四季感あふれる散歩道 ○魚が行き交う自然が豊かな川 ○ハートウォッチングや水遊びが楽しめる水辺 ○瀬や淵など変化がある流れ	まちづくり	-	-	-

流域名	テーマ区分	指標とする取組		指標とする項目		
		取組内容	実施機関名(構成員名)	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度実績
天白川・山崎川等流域	川・里海づくり	天白・川辺の楽校	名古屋市	①6月 環境保全功 労団体賞(環境省) 受賞 ②6月 名古屋市天 白川にて「ヤゴ 救出作戦」を実施 ③8月 天白小橋下 流にて「川遊びと生 き物観察」を実施 ④10月 名古屋市 天白公園で開催した 「天白川区民まつ り」 にフーズ出展 ⑤11月「天白区& 日進市 天白川DE つながり隊！ 中流編 ～ク リーン作戦と秋 の味覚～」を実施 ⑥12月「COP天白 写真＆イラスト展」に 参加・出品 ⑦平成21年2月 天白川右岸「水辺の 緑の回復事業 植 樹林の枝切剪定」の 実施 ⑧平成21年3月 「日進市&天白区 天白川DEつながり 隊！上流編 ～天 白川の上流調査～」 を実施 ⑨平成21年3月 「天白川ものしりガ イド」作成について名 古屋市から委託・発 行 ⑩通年 総合学習 支援 (天白小学校はじめ 4小学校4年生合計 530人に対して)	①6月 環境保全功 労団体賞(環境省) 受賞 ②6月 名古屋市天 白川にて「ヤゴ 救出作戦」を実施 ③8月 天白小橋下 流にて「川遊びと生 き物観察」を実施 ④10月 名古屋市 天白公園で開催した 「天白川区民まつ り」 にフーズ出展 ⑤11月「天白区& 日進市 天白川DE つながり隊！ 中流編 ～ク リーン作戦と秋 の味覚～」を実施 ⑥12月「COP天白 写真＆イラスト展」に 参加・出品 ⑦平成21年2月 天白川右岸「水辺の 緑の回復事業 植 樹林の枝切剪定」の 実施 ⑧平成21年3月 「日進市&天白区 天白川DEつながり 隊！上流編 ～天 白川の上流調査～」 を実施 ⑨平成21年3月 「天白川ものしりガ イド」作成について名 古屋市から委託・発 行 ⑩通年 総合学習 支援 (天白小学校はじめ 4小学校4年生合計 530人に対して)	①6月 天白川天白小橋下 流左岸にて「生き物観察と 川遊び」イベントを実施 ②10月 名古屋市セン ター「地域のまをめぐりと 養成講座」にて講義 ③10月 名古屋市天白公 園で開催した「天白区民 まつり」にフーズ出展 ④11月 天白公園「大観池 の池干し」に実行委員とし て参加 ⑤12月「天白川ク リーン作戦～樹木の枝切り～」 を実施 ⑥通年 総合学習支援(植 田南小学校はじめ4小学 校)
		・天白川とその流域を中心として、川に親しみ、川に学び、川の課題を知り、自然環境のすばらしさの維持・保全につとめ、川にかかわる生活のたのしきやゆたかさを次世代に伝承する。				
伊勢湾沿岸域(知多半島等)	森づくり	水廻り養林育成事業	愛知用水土地改良区	整備面積 (ha)	整備面積 (ha)	整備面積 (ha)
		・植樹祭でヒノキの苗の植樹を行う。		0.3ha	0.3ha	0.3ha
	郷づくり	—	—	—	—	—
	まちづくり	—	—	—	—	—
川・里海づくり	海岸環境整備事業	・砂浜の保全・再生を図るため、突堤の整備や養浜を行う。	県知多建設事務所	縦断砂浜延長(m)	縦断砂浜延長(m)	縦断砂浜延長(m)
				—	—	65.5m
	水生生物調査	・水生生物を指標とした水質調査の実施と調査への支援。	流域市町、県水地盤環境課 (※報告機関: 県水地盤環境課)	実施箇所数	実施箇所数	実施箇所数
				—	—	—
			のべ参加人数(人)	のべ参加人数(人)	のべ参加人数(人)	
			—	—	—	

【課題】
○単調な河川環境が見られることから、自然に恵まれ、うるおいを感じることができる川づくりが必要となっている。
○流域には多くのため池が見られるが、ため池は多面的機能を持つことから、その保全を図ることが必要である。
○生活排水対策とともに、農地・畜産の環境保全対策も重要

○水辺の緑が豊かで、魚や昆虫などが見られる川
○利水・治水を始め多面的機能を有するため池の保全